

協働で成果を倍増させる！これからの環境活動

あらゆる人を担い手に変え、結び付けていく、道の開き方

協力アカデミー 池本桂子
2024年11月5日
2025年度 地球環境基金助成金説明会

本日のお話

確認

地球環境基金の
新しいビジョン



背景

協働の重要度が
高まる背景

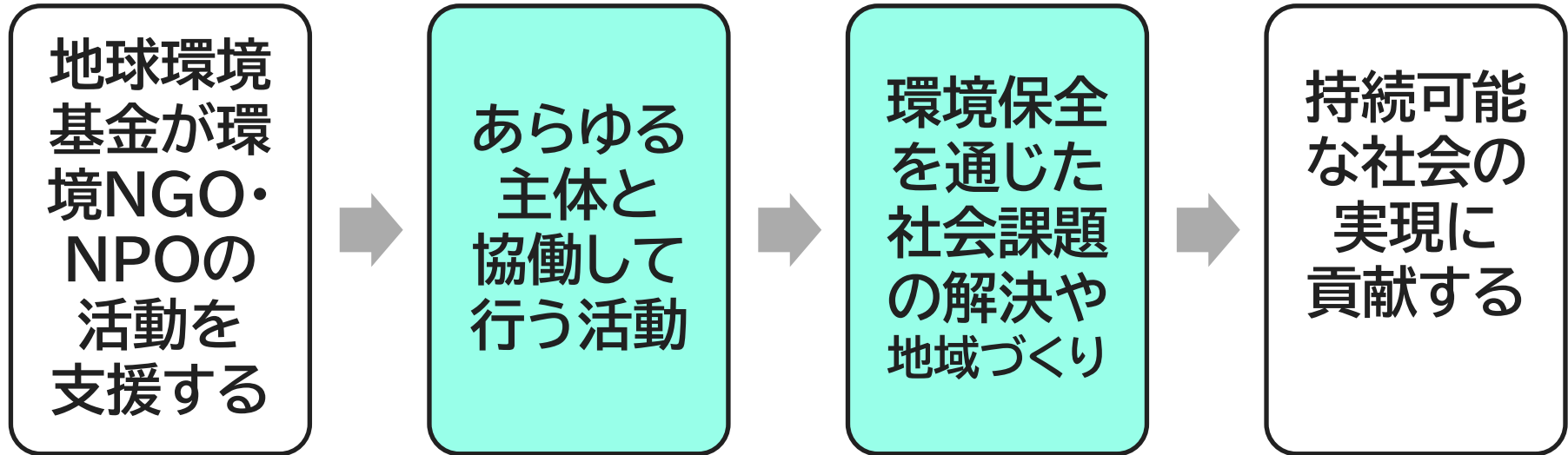


ポイント

協働をつくる
ポイント

地球環境基金の新しい ビジョン

これから求められる助成活動



協働の重要度が高まる背景

起こってきた4つの変化

社会課題解決手法の変化

NPOに必要な力の変化

行政が求める力の変化

成果志向の進展



社会課題解決手法の変化

～多主体連携が必要とされる時代に～

社会課題解決 1.0

政府主導の時代
公共一元論の時代

戦後から1990年代半ば

福祉国家を目指す
社会課題解決の主役は国
家。市民はその補完。

社会課題解決2.0

官から民への時代
公共二元論の時代

1990年代半ば～2010
年代

「新しい公共」として
NPOなどの非営利組織が
登場。

社会課題解決3.0

多主体連携の時代
公共多元論の時代

2020年代

社会課題の複雑化・多様化。
ソーシャル・ビジネスと
多主体連携の仕組みづく
りが、2大解決策として主
役になってきた。

NPOに必要な力の変化

1998年～

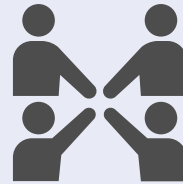


基盤・事業力強化
組織マネジメント

法人化、会計、税務、労務
資金集め、事業力
サービス提供力などの強
化と、行政との協働強化



2010年代半ば～



連携強化
関係者マネジメント

連携・つながりを重視
社会参加の促進
担い手と資金獲得による
持続性確保
成果を示すことの強化

行政が求める力の変化

1998年～



公共の担い手
組織基盤の強化

公共サービスの担い手として育成・強化・支援
行政とともに社会を良く
する組織として増やして
きた。



2010年代半ば～



共助社会の作り手
活動基盤の強化

あらゆる主体が参加し、
社会課題を同時解決して
いくプラットフォームの
担い手として、その活動
基盤を強化

政府は、現在、さまざまな分野で、
多主体連携による課題解決の仕組みを推進しています。

重層的支援体制整備事業	厚生労働省	地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業
地域共生社会づくり	厚生労働省	子ども・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会の実現を目指す。
地域包括ケアシステム	厚生労働省	重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みづくり
孤独孤立対策官民連携プラットフォーム	内閣府	官民連携で多者連携型のプラットフォームを国と地方でつくり、社会全体で孤独孤立問題に取り組む仕組み
社会的処方	内閣官房 厚生労働省	医師等医療関係者がコミュニティ内の非医療的サポート資源と患者をつなぐ仕組みの構築

政府は、現在、さまざまな分野で、
多主体連携による課題解決の仕組みを推進しています。

小さな拠点	総務省 内閣府	複数の集落が集まる地域において、生活サービスや地域活動を、歩いて動ける範囲でつなぎ、コミュニティバスなどで結ぶことで、新しい集落地域の再生を目指す取組み。
地方創生SDGs	内閣府	SDGsを、企業や、NPO、大学、研究機関など、広範なステークホルダー間のパートナーシップ・官民連携で推進。
地域運営組織(RMO)	総務省	地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成し、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織
指定地域共同活動団体制度	総務省	地方自治法で新たに創設された、地域課題の解決に取り組む住民団体・組織を市町村が指定し、支援する枠組み。さまざまな関係者と連携・協働する団体が要件となる。
TMO	経済産業省	中心市街地に関わる官民の諸活動を総合的に企画・調整し、時には事業主体となって、中心市街地の諸資源を活かして、活性化を図ろうとする機関

政府は、現在、さまざまな分野で、
多主体連携による課題解決の仕組みを推進しています。

官民連携まちなか再生推進事業	国土交通省	官民の様々な人材が集積するエリアプラットフォームの構築や未来ビジョンの策定などの取組を総合的に支援し、都市の魅力・国際競争力の強化を図る
エリアマネジメント	国土交通省	地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組
総力戦で挑む防災・減災プロジェクト	国土交通省	災害から国民の命と暮らしを守るため、行政機関、民間企業、国民一人ひとりが、意識・行動・仕組みに防災・減災を考慮することが当たり前となる社会をめざす
PPP/PFI地域プラットフォーム協定制度	内閣府 国土交通省	地域の産官学金が集まって、PPP/PFI事業のノウハウ取得や情報交換等を行う地域プラットフォームを支援
DMO(観光地域づくり法人)	観光庁	多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現する

政府は、現在、さまざまな分野で、
多主体連携による課題解決の仕組みを推進しています。

コミュニティスクール	文部科学省	学校と保護者や地域の人々が一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める
公民館改革	文部科学省	民間教育事業者、さらにNPOや福祉団体その他の社会的な様々なアクターと連携を取りつつ、生涯学習振興行政を推進する
地域循環共生圏	環境省	地域の多様な資源を最大限に活用しながら、環境・社会・経済の同時解決を目指す。地域内外との協働を重視。
多文化共生のまちづくり促進事業	総務省 自治体国際化協会	外国人住民と日本人住民とが助け合い、共に安心して暮らせるまちづくり
ODA大綱	外務省	政府・政府関係機関による開発協力の実施に当たっては、民間部門を含む多様な力を動員・結集するための触媒としての役割を果たせるよう、様々な主体との互恵的な連携を強化する。

政府は、現在、さまざまな分野で、
多主体連携による課題解決の仕組みを推進しています。

農村RMO	農林水産省	複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を様々な関係者とともに行う
国民参加による植樹等の推進対策サポート体制構築事業	林野庁	企業・NPO等の多様な主体が森林づくり活動を行えるよう、モデルとなるような地域レベルの組織を選定し、サポート体制構築に向けた取組を支援

社会課題解決の成果志向が進展

1998年～



育てるフェーズ
アウトプット志向

法人数の増加、協働事業
の増加、サービス提供数
の増加、資金の増加など、
育て、増やすことを重視



2010年代半ば～



成果を出すフェーズ
アウトカム志向

地域や社会にどのような
変化を、どれくらい生み
出せたか、コストパフォー
マンズの良さなどを重視

● 社会課題解決手法の変化

多主体連携が必要とされる時代になった

● NPOに必要な力の変化

連携促進、関係者マネジメントの力が期待される時代になった

● 行政が求める力の変化

多主体連携施策の推進役・サポート役をNPOに期待するようになった

● 成果志向の進展

多主体連携で「よりひろく」成果をもたらす事業への期待が高まっている

協働をつくるポイント

協働の起点は「できないこと」

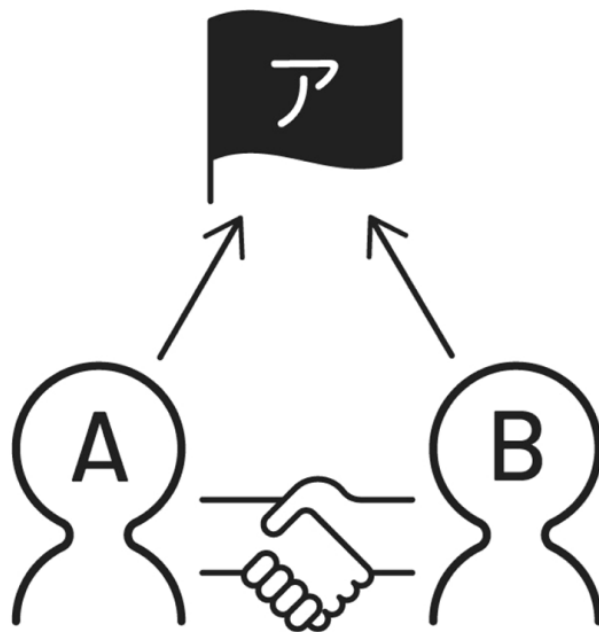
自分にはできないことを
カバーしあう「協力」活動

協力の種類

同じ目標を達成するため
AさんとBさんが
力をあわせて活動する

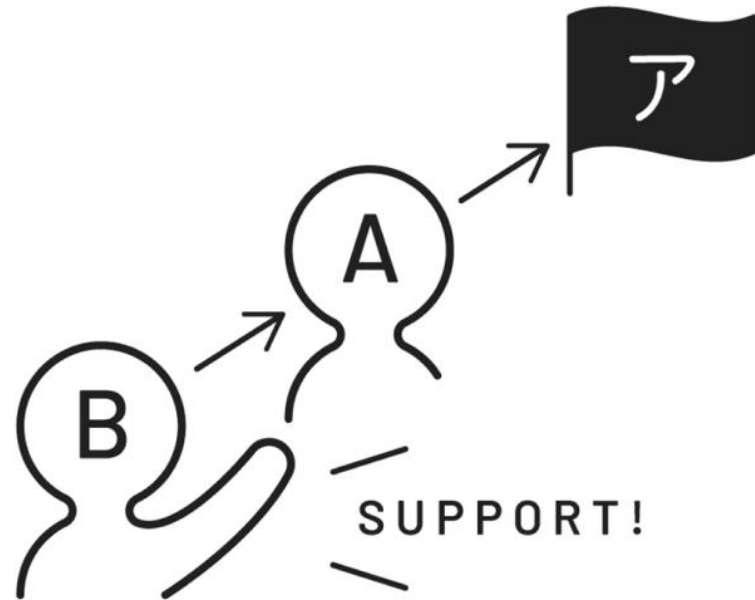
最もシンプルな形の協力

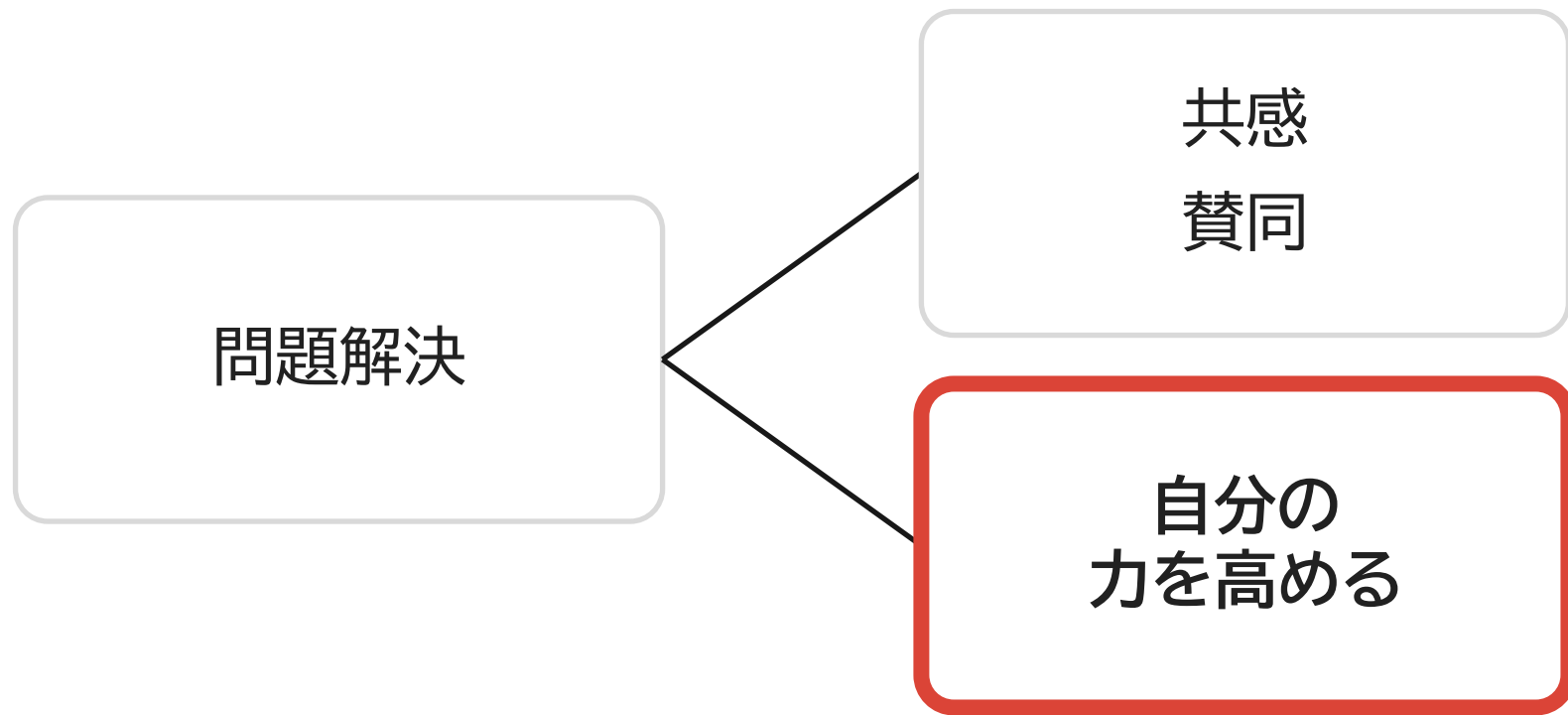
協力 1.0

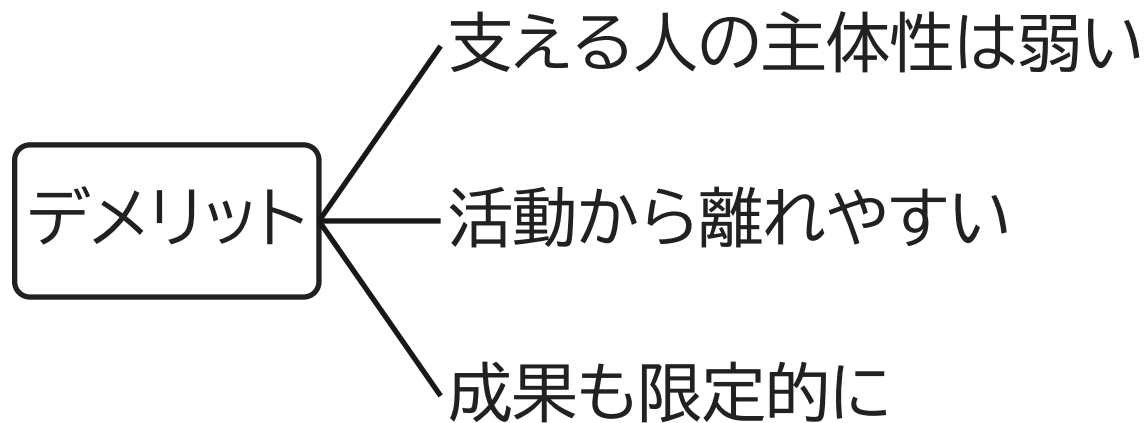
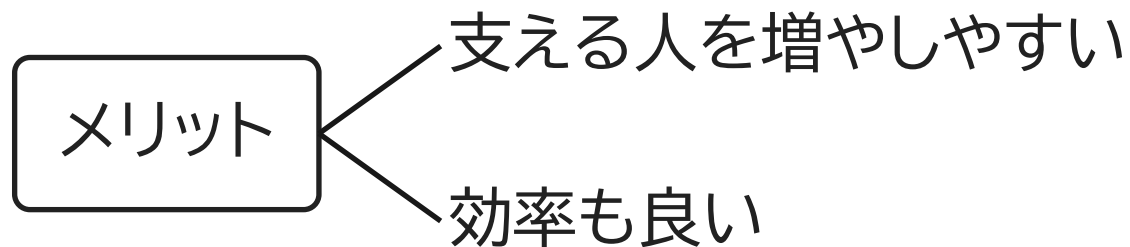


目標を達成したい
Aさんを
Bさんが応援する

共感をベースとした
サポート型の協力





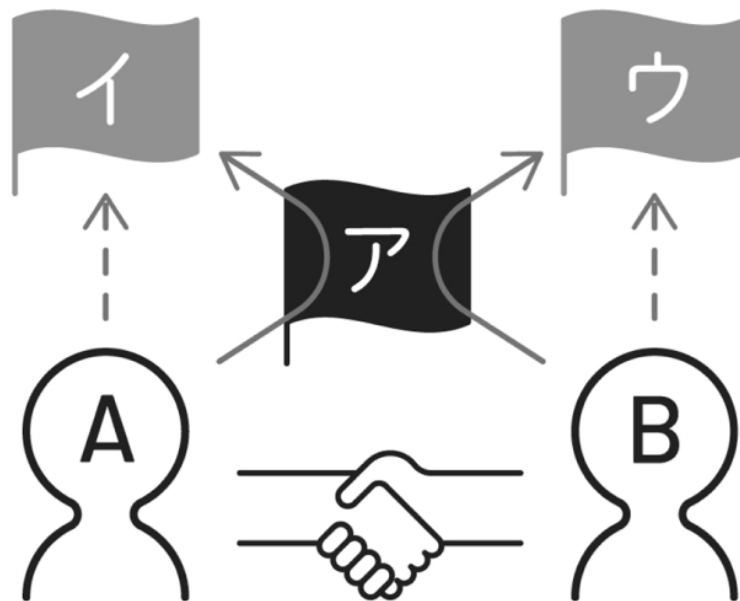


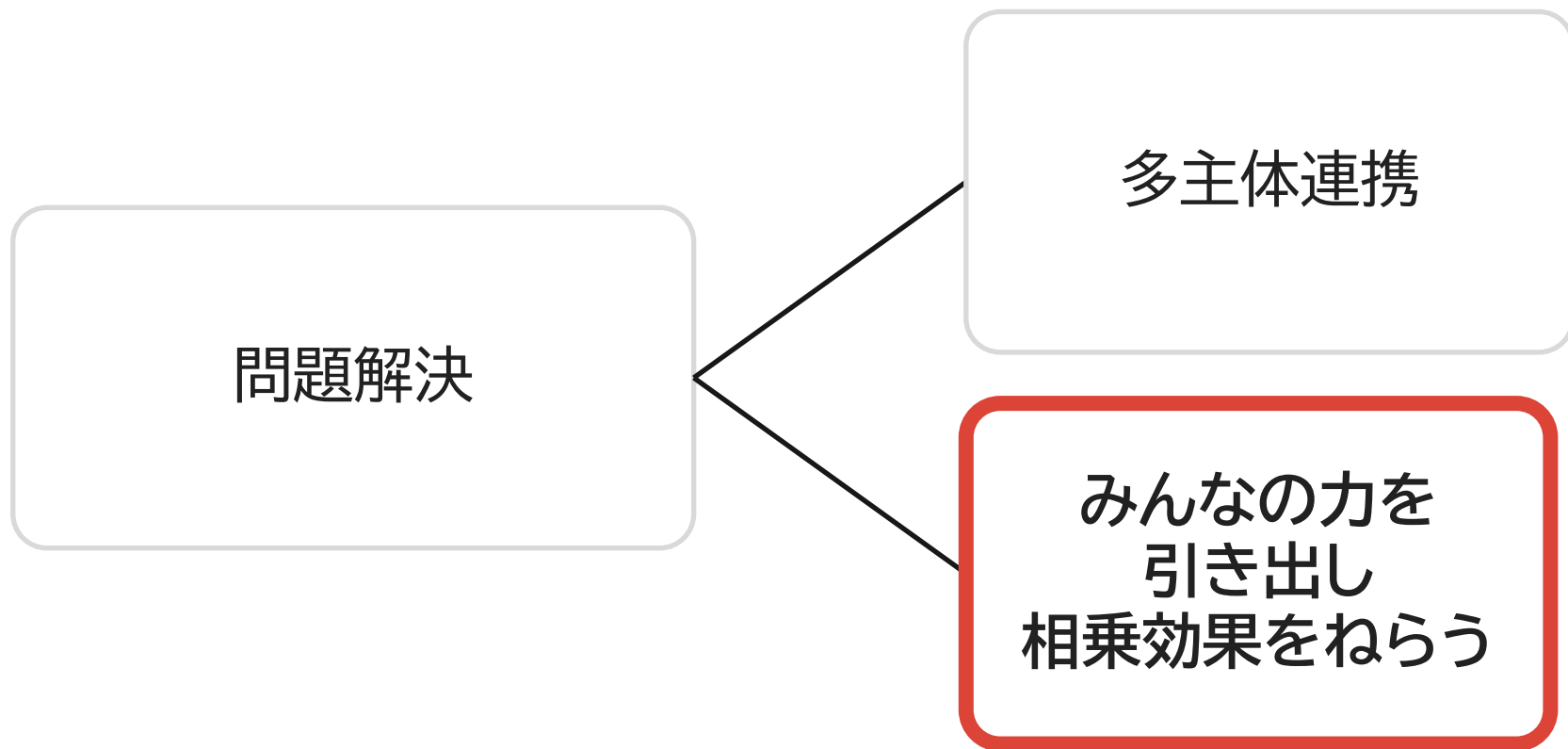
AさんもBさんもそれぞれに
解決したい問題がある

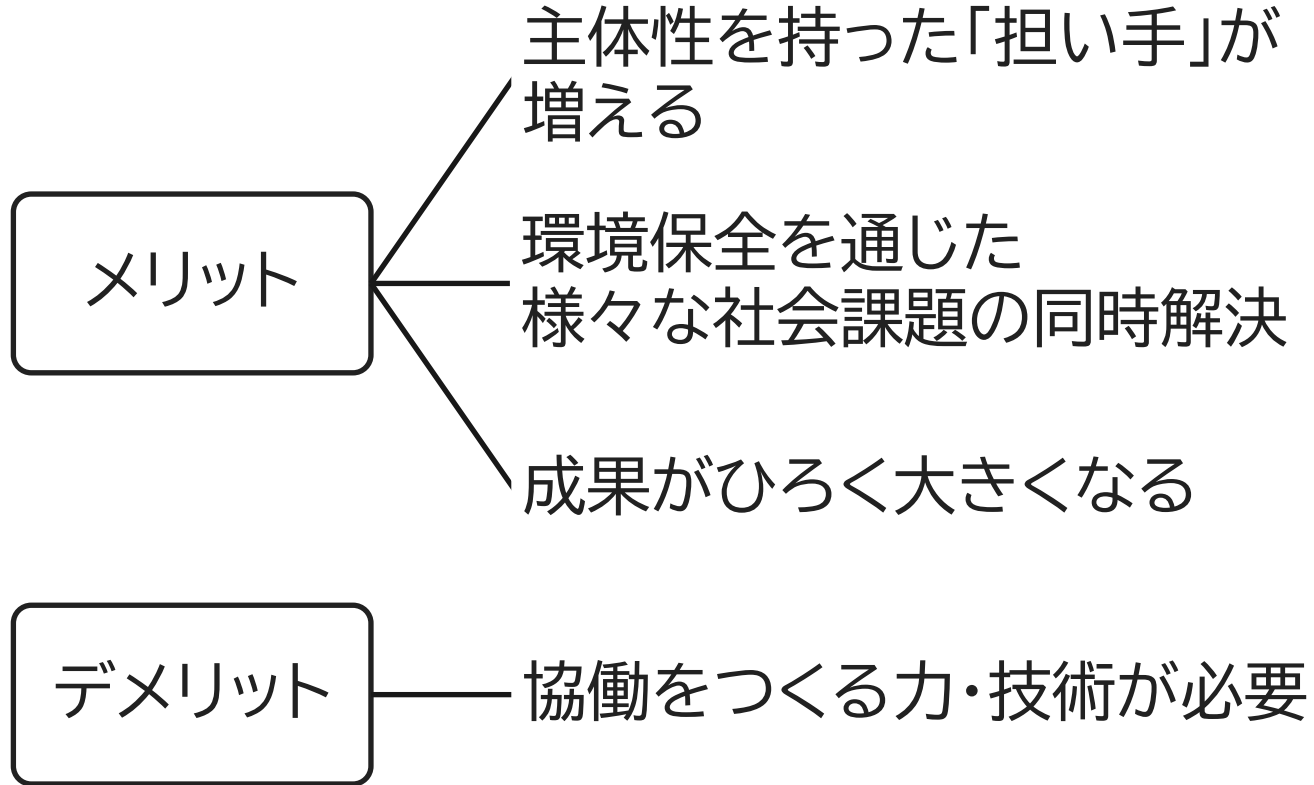
AさんとBさんが
協働事業に取り組むことで
それぞれの問題も
同時に解決される

目標・事業開発型の協力

協力 3.0







協働の開発

- × 手伝ってもらおう
- × 他者を巻き込む
- みんなが得するプログラムを開発する

どんなに環境に良いことでも
自分自身への利益がなければ
人は動かないし、長続きしない

関係者それぞれのニーズを満たし合う
プログラムの開発



目的



目的



目的



目的



目的

関係者の力を引き出し
それぞれに異なるニーズ(目的)を満たし合う
環境保全プログラム

達成！

達成！

達成！

達成！

達成！

関係者の力を引き出すために



「役割」を明確に

地域ネコ活動

関係者	問題	目的	活動	役割	相利
NPO ネコ好き	可哀想なネコが たくさんいる	ネコの幸せ	地域猫活動 *野良ネコを ボランティア やNPOが共 同管理し、最 終的に野良ネ コを失くして いく活動	餌やり、糞尿 の掃除、不妊・ 避妊手術等	野良猫の減少
野良猫	餌に困っている	安全な暮らし		周りに迷惑を かけない	飢えている猫 の減少
行政	法律守りたい	法律順守		活動の後ろ盾	殺処分減
町内会長	住民トラブル	町内の平和		場の設定	トラブル減
管理人	住人クレーム	家主の責任		住人への啓発	クレーム減
保健所	殺処分多い	殺処分減		住民への啓発	殺処分減
地域の人々	ネコの迷惑	迷惑減		理解と見守り	迷惑減

協力・協働のプラットフォーム

困り事やしたいことを組み合わせ
方程式のように解決策＝協働事業を生み出す

プラットフォームを活用して
お互いの課題を解決し合う



関係者のひろげ方

自分

関係者

- 仲間
- 敵対者
- 仲裁者

世界

- より多くの人が共有しやすい価値
- その価値を推進する人や団体

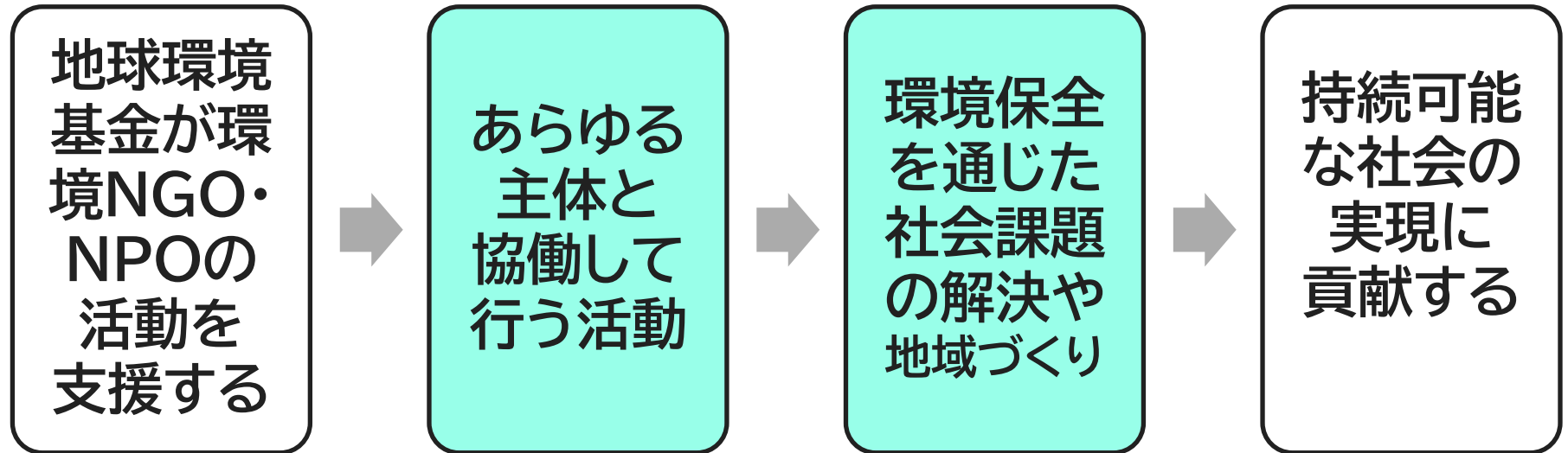
取り組んでいる問題が
なかなか解決しない時は
関係者を増やして
使えるリソースを増やして
解決策をよりよくしていく。

地域ネコ活動

関係者	問題	目的	活動	役割	相利
NPO ネコ好き	可哀想なネコが たくさんいる	ネコの幸せ	地域猫活動	餌やり、糞尿 の掃除、不妊・ 避妊手術等	野良猫の減少
野良猫	餌に困っている	安全な暮らし		周りに迷惑を かけない	飢えている猫 の減少
行政	法律守りたい	法律順守	*野良ネコを ボランティア やNPOが共 同管理し、最 終的に野良ネ コを失くして いく活動	活動の後ろ盾	殺処分減
町内会長	住民トラブル	町内の平和		場の設定	トラブル減
管理人	住人クレーム	家主の責任		住人への啓発	クレーム減
保健所	殺処分多い	殺処分減		住民への啓発	殺処分減
地域の人々	ネコの迷惑	迷惑減		理解と見守り	迷惑減

ここまでで
ご質問があればお願いします
ご感想でも！

これから求められる助成活動



協働で成果を倍増させる！これからの環境活動

あらゆる人を担い手に変え、結び付けていく、道の開き方

協力アカデミー 池本桂子
2024年11月5日
2025年度 地球環境基金助成金説明会